

アスパラガス

省力化!作付面積拡大を目指して 「1.5年露地栽培」試験圃場設置

1.5年露地栽培とは

1年目	8月	定植
2年目	通年	防除
3年目	4～5月	収穫



期待される効果は？

- ◎生産導入コスト軽減
(プラグトレイ利用で育苗スペース削減、加湿設備不用 等)
- ◎栽培管理の簡素化
(長期間に伴う作業分散化、支柱無しでの管理)
- ◎養水分吸収が→収量&品質UP



各生産部会の共通の課題は労働力不足
その課題、簡単に解決するかもしれません!
お気軽にご相談、ご登録してみてください!!



白神りんどう

りんどう極早生多収技術確立へ

6月上旬～7月上旬の早期出荷も、お盆、彼岸需要と同等以上の単価確保が可能

↓
しかし、極早生品種は生育期間が短く、他品種と比べ収量が下がる。

↓
そこで、他産地実証技術を応用
「収穫終了後の越冬芽に1株あたり100ppmのジベレリン処理を行い、収量向上を目指す!



お盆需要に合わせて続々と出荷される「白神りんどう」

